

財政福祉委員会(9月8日) 山口清明副委員長・さいとう愛子委員

来年度の市税収入は24億円増の5,025億円(見込み)

金持ち優遇の市民税減税は115億円

9月8日の財政福祉委員会に、今年度以降の財政収支の見込みが示されました。

市税増収でも収支不足83億円

来年度は5%減税で115億円の収入減がありますが、市税収入全体では24億円の増となるが、扶助費や投資的経費の増などにより83億円の収支不足が見込まれています。

そのために行革で58億円、貸付金の返済で25億円の対策を行い、その経費圧縮のために物件費と投資的経一般会計収支見通し 2015は予算、他は見込み(単位:億円)

区分		2015	2016	2017	2018	2019
歳入	市税	5,001	5,025	5,083	5,076	5,135
	減税前	5,117	5,140	5,200	5,195	5,255
	5%減税額	△116	△115	△117	△119	△120
	市債	706	706	707	745	757
	うち臨時財政対策債	(240)	(240)	(240)	(240)	(240)
	その他	5,016	4,995	4,979	5,134	5,207
	うち地方交付税	(50)	(50)	(50)	(50)	(50)
計		10,723	10,726	10,769	10,955	11,099
歳出	人件費	1,675	1,676	1,670	1,687	1,695
	扶助費	2,886	2,921	2,994	3,076	3,169
	公債費	1,339	1,318	1,327	1,369	1,435
	投資的経費	862	950	921	968	989
	その他	3,961	3,944	3,983	3,987	3,987
	計	10,723	10,809	10,895	11,087	11,275
差引収支		-	△83	△126	△132	△176

収支不足への取り組み(単位:億円)

区分	年度	2015 (参考)	2016	2017	2018	2019
行財政改革の取り組み		69	58	101	132	176
	経常分	33	48	91	132	176
	臨時分等	(36)	(10)	(10)	(-)	(-)
歳出の削減	内部管理事務等の見直し	26	53	101	132	176
	うち臨時分等	(5)				
	事務事業の見直し	2				
	うち臨時分等	(1)				
	外郭団体に関する見直し	1				
	歳入の確保、その他	34	(10)	(10)	(-)	(-)
	うち臨時分等	(30)				
	人件費関係分	6				
	定員の見直し	4				
	その他人件費の見直し	2				
財源対策		12	25	25	-	-
	貸付金の返還	12	25	25	-	-
合計		81	83	126	132	176

(注) 2015年度は予算での対応を掲げた。

一般会計市債現在高年度末見込み	17,092	16,685	16,431	16,218	15,890
-----------------	--------	--------	--------	--------	--------

費の10%減などを指示しています。

個人所得が伸びた実感はない

さいとう議員が税収の内訳を質問しました。「2016年度は個人市民税1.4%の増、法人市民税1.0%の増を見込み、以降は個人1.0%、法人3.0%の伸びを見ている」と答えました。さいとう議員は「企業収益が好調な割に個人には所得が伸びた実感はない。消費税10%になればそんな見通しにはならないのでは」と指摘しました。

臨時・政策経費は市長のものではない

来年度は83億円の収支不足がありながら115億円の減税を行い、収支不足のため物件費を削り、職員数や賃金などを削る「行革の取り組み」「定員管理計画」のようなやりかたでは「これ以上の削減は困難」です。山口議員は、「減税そのものの見直しが必要」と指摘。

財源配分方式の予算の中で、臨時的政策的経費として70億円が毎年留保資金として示されています。山口議員は「総合計画を進める中で必要な事業に充当するのではないか」とただし、財政局は「予算編成の中でどの事業を優先的に進めるかを検討するので未定」と答えました。山口議員は「70億円は市長の裁量で自由になるわけではなく、議会も議決した総合計画の中で事業推進する費用。オリンピックまでに天守閣を造る計画はなく、着実な事業推進を」とただしました。

2016年度予算編成の予算配分の考え方

①経常経費
②経常化している政策経費

③法定事業
債務負担行為等経費

④臨時・政策経費
必要額

特定財源(国庫補助金など)	特定財源(国庫補助金など)	特定財源
一般財源 (市税収入など) 2,245億円 ↓圧縮 2,197億円	一般財源 (市税収入など) 3,979億円	
行財政改革の取り組み 48億円		

経費圧縮の考え方(行財政改革の取り組み、節減など)

- ・人件費…計画的な定員管理等による削減額
- ・扶助費、維持補修費…圧縮なし
- ・貸付金…△5%(27△5%/26△5%)
- ・投資的経費、物件費、補助費等…△10%(27△10%/26△10%)